

千葉大学医学部附属病院で 肝移植手術を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年11月1日

肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、神戸大学が行っている「肝移植症例登録調査、日本国内における移植後早期グラフト機能不全と再肝移植の現状」に関する研究に参加しています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では（2012年1月1日から2021年12月31日までに肝移植を実施された患者さん）の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「日本国内における移植後早期グラフと機能不全と再肝移植の現状に関する研究」

2. 研究の意義・目的

肝移植手術の統計及び追跡調査を行い、治療実態を検討することによって治療成績の向上を目指しその際に論文として発表し世界の肝移植患者さんの治療成績に資することを目的とします。また、日本国内において移植後1年以内の早期にグラフト機能不全に至った患者を対象に、グラフト機能不全に至る患者背景について調べることを目的とします。

3. 研究の方法

当院において肝移植手術を受けられた患者さんの血液検査、病理検査、治療情報、予後情報等を診療情報から抽出し、個人がわからないよう加工された状態で神戸大学へ提供し、研究に利用します。一部先行研究 M10588「肝移植症例登録調査に関する研究」で収集し、肝移植学会のレジストリーへ登録した既存情報も利用して分析します。

4. 個人情報の取り扱いについて

「本研究で得られた個人情報は、個人が特定できないように加工して、外部に洩れることのないように厳重に管理します。具体的には、特定の個人を識別しうる記述等（氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号等）を削除し、患者さんの情報に「研究対象者識別番号」を付与し、患者さんと情報を紐づける「研究対象者識別番号リスト」を作成します。情報を神戸大学へ提供する際は、加工した情報のみを提供し、「研究対象者識別番号

リスト」は千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科にて厳重に管理します。先行研究で登録された情報はすでに匿名化ソフトで暗号化された情報を利用します。

研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。」

5. 研究組織

【研究機関（提供先研究機関）】

神戸大学

研究責任者：神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座地域医療ネットワーク学分野 上田佳秀

【研究参加（既存情報の提供を行う）機関】

千葉大学医学部附属病院

病院長 横手幸太郎

責任者 肝胆膵外科 大塚将之

日本肝移植学会 他

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

本件の連絡窓口：

千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科 仲田真一郎

043（222）7171 内線6731

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。